

これが 公民館報

第333号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数 1,913 世帯
人口 4,253 人
男 2,055 人
女 2,198 人

(令和3年3月1日現在)

祝
おめでとう
卒業

小学校の思い出

- (楽しかったこと、頑張ったこと)
- 修学旅行などの校外学習
- 臨海学習の時にみんなまで海に行って遊んだこと
- 修学旅行です。ホテルとか友達と、いっぱい遊んで楽しかった
- タイムトライアルなど
- 修学旅行が楽しかった
- (*同じ意見が多数寄せられました)
- 修学旅行でお風呂がとても楽しかったです
- 学校生活での毎日
- 修学旅行ホレストアドベンチャーが楽しかった
- 修学旅行臨海学習休み時間など
- 修学旅行でのアスレチック
- 修学旅行、休み時間とか
- 修学旅行で、友達といっしょにお風呂に入ったりしたこと



春を迎え17名が四賀小学校を卒業し中学校生活がスタートします。皆さんに小学校時代の思い出と中学校で頑張りたいことを寄せていただきました。コロナ禍の中でも元気で有意義な中学校生活が送れるように願っています。



中学校でやりたいこと、将来の夢

- 部活動や学校の行事などみんなを笑顔にすること
- 部活動(科学部かオーケストラ部)を頑張りたい
- 部活動など、初めての部活だからいろいろやってみたいです
- 理科の実験!!
- しあわせに暮らしている社会人
- プロ野球選手になることです
- 中学校で部活をがんばってやりたいです
- 小学校で学べなかったことを中学校で学びたい
- 体育をしっかりとやりたい
- 社会の勉強をがんばりたい
- 勉強をがんばりたい
- 普通の人
- 学年関係なく仲良くしたい
- 部活、トータルビューティシャン
- 中学校で5教科をがんばりたい
- 勉強を頑張りたい、学校の先生
- しっかりと勉強したり、友達と楽しく遊んだりしたい

四賀の福寿草

今年の祭りは中止になりましたが早めの開花で春を告げています。



地域から小・中卒業生へエールを贈りました。

- 今年もコロナ対策のため、卒業生と保護者そして教職員だけの少し寂しい卒業式になりました。地域の方々から励ましの言葉を募り、卒業生の皆さんに贈りました。その一部を紹介します。
- ピンチをチャンスに変えて!! 感謝と笑顔を忘れずポジティブに前を向いて進もう
- あなたは唯一無二の存在。自分を大好きでいてください。
- 卒業おめでとうございます。感謝と笑顔を忘れず未来に向かって頑張ってください。
- 卒業おめでとうございませう。どんな環境に置かれても自分を信じてベストを尽くしてください。
- 皆さんの毎日の頑張りが必ず実を結びますよ祈っています。
- ご卒業おめでとうございませう。四賀は本当に自然が豊かで、特に少しはなれた所からみるととても魅力的な所です。
- 上の学校へ行ってもどうぞ楽しんでください。

四賀探索ウォーキング

協力ありがとうございました

閉じこもりがちの昨今、これから暖かい日も多くなるので、地区内ウォーキングを始めました。毎回2時間くらいですが、四賀地区内の各所を訪ねて歩きます。2月18日はあいにく寒さが戻った日でしたが、12名で会田新町・会田中学校・小岩井近辺を散策しました。路地や田んぼ道なども歩くと新しい景色に出会えます。2月26日も小雪が舞う天気になりましたが、元気に10名が参加し、板場方面へ向かいました。諏訪社を経て山の方へ登ってゆくと畑や牧草地が広がっています。

今年度は、コロナ禍で夏まつりが残念ながら中止となりました。そこで会田中学校生徒の皆さんが寄付を集め、地区を元気づけようと高嶺祭のイベントとして9月26日に会田中学校、旧錦部、旧中川、旧五常小学校の各グラウンドで花火を打ち上げました。

今回は参加者の方の庭を訪問し、斜面一杯に咲き誇る福寿草や、手作り小屋など楽しく拝見しました。3月4日は旧五常小学校を起点に落水から井刈の諏訪社近辺を歩きました。

当初目標とした募金額より多く集まったため、使用しなかったお金をいただきました。また、毎週金曜日に支所入口でテイクアウトをしている「結ぶ市」の皆さんから保育園の子どもたちへ、昨年のイベントの売り上げの一部が贈られました。

今後は月に2〜3回程度地区内を歩きたいと思っています。皆さんが気軽に参加してください。

会田中学校生徒会長中沢凜音さんをはじめ本部会4名の皆さんから2月22日、四賀夏まつり実行委員会へ夏まつりの花火の費用に役立ててほしいと協賛金をいただきました。



若竹煮

(地物は5月中旬頃から)



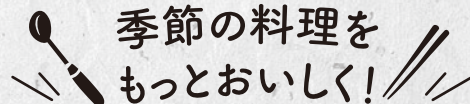
※下煮をして、本炊きをします。

【材料】

- タケノコ 800g
あく抜きしたもの(食べやすい大きさにカット)
- 下煮の材料
 - ・ 出汁 800cc
 - ・ 淡口醤油 大さじ1 1/2
 - ・ みりん 小さじ2
 - ・ 塩 小さじ2/3
 - ・ カツオ節 1つかみ(ガーゼ等に包んで)
- 本炊き煮汁の材料
 - ・ 下煮の煮汁 800cc
 - ・ 淡口醤油 20cc
 - ・ みりん 10cc
- ワカメ 300g(乾燥ワカメをもどしたもの)
- 木の芽 あれば山椒など

季節の料理を

もっとおいしく!



【作り方】

- ① 下煮をする。鍋にカツオ節を除く材料とタケノコを入れ落とし蓋をして弱火で15分炊く。
- ② 時間がきたら、カツオ節を加え、弱火でサッと煮て完成。カツオ節は取り出す。
- ③ 本炊きをします。鍋に煮汁の材料とタケノコを加え、落とし蓋をして、弱火で15分炊く。
- ④ 時間がきたら、ワカメを加えサッと火を通す。器に盛り、木の芽を散らし完成。

※この辺のタケノコの定番「破竹」は、とても美味しく炊けます。

湧き水

▼4月から令和3年度が始まります。新しい年号『令和』も使い慣れてきました。

▼令和2年度はコロナ禍の真っ只中でした。年度初めから学校は臨時休校でした。4月16日には緊急事態宣言が長野県を含め全国に拡大されました。5月になって緊急事態宣言は解除されましたが、感染対策をしながらの生活が当たり前になっていきました。一旦は感染者が減りましたが政府による観光需要喚起策等で、人の動きが活発化してくると第二波と言える感染拡大がおきました。その後も年末年始には第三波が到来し、長野県は医療非常事態宣言を出しました。

▼感染拡大と収縮を繰り返してきましたが、いよいよワクチン接種が始まります。松本市でも4月以降高齢者から接種が受けられるようです。しかし、全ての人が接種を受ければこのコロナ禍が終わるかはまだ判りません。

▼社会が変わった1年でしたが、のど元過ぎれば熱さを忘れた人は多いでしょうが、この災厄の教訓を生かす新たな仕組みの創造が必要だと感じます。